



## 共に生きるコミュニティスクール

### 重安再発見～秋の遠足～

重安小学校

今年度、重安小は創立140周年を迎えました。そこで、子どもたちにもっと重安地域を知ってもらおうと、ほうれん草栽培や石灰産業を見学する「秋の遠足」を計画しました。地域の皆さんと交流会も行い、「昔の重安」についてのお話を聞き、花いちもんめなどをして楽しみました。「映画館があった」など初めて知ることばかりで、子どもたちから驚きの声が上がっていました。地域の皆さんの重安への熱い思いが伝わり、よい1日となりました。



### 美祢線フラワープロジェクト 「コスモフェス in おふく」(10月30日)

於福中学校

中学生も企画・運営から参加した「美祢線フラワープロジェクト」は、地域や企業が主催・協賛した大イベントになりました。ハロウィン、コスモス、コスプレと広がったこの「フェス」には、生徒も“笑顔アテンダント”として出迎えました。

於福のまちやジオパークについて話しながら、会場の「道の駅おふく」まで案内しました。小学生のジオガイド、小・中学生のよさこいソーランなどもあり、約3,000人もの来場者が楽しんでいました。

地域の環境美化と活性化に、学校をあげて楽しく取組めた「フェス」でした。



## 美祢青嶺高等学校の取組み

美祢青嶺高等学校は、今年度、山口県の県立高校でコミュニティ・スクールに指定された3校のうちの1校です。様々なボランティア活動を中心に次のような目的で取り組んでいます。

- \* 小・中学校での活動をもとに地域への思いを深める。
- \* 地域の活性化に向け、高校生としてできることを考え、実践する。
- \* 地域の一員としての自覚を高め、地域を支えることができる人材に成長する。

「恩送り」は、親切にしてもらった人に返すのではなく、受けた恩を他の誰かに送り、その人がまた別の人に送ることで、恩が世の中を巡っていくことになります。(中略) この「恩送り」が広がっていくためには、一人ひとりが他人から受けた恩に感謝し、支え合っていることに気づき、ありがたいと思う心をもち続けることが大切です。

校長 古谷 修一 美祢青嶺高新聞より

### 地域ボランティア活動の様子



小学生科学教室



厚保中サマースクール



高齢者宅の清掃

### つながる美祢の子どもたち

美祢市では小・中学校だけでなく、高等学校までの18年間のつながりを考えたコミュニティ・スクールの取組が行われています。





明治維新百五十年企画  
美祢の維新史跡 ⑧

下関で決起し  
共に萩本藩と戦おうと  
言った高杉さんに

三家老の首を  
幕府に差出した  
藩の連中と  
何を話し合う  
ちゆうんじや!

高杉さん  
藩と戦うなんて  
そんな無謀なことに  
奇兵隊は出せん  
やるちゆうんじやったら  
あんた一人でやったら  
ええじやる!

奇兵隊幹部の  
山縣狂介(後の有朋)は  
勝ち目のない戦いより  
藩と話し合うちゆうて  
反対しちやつたそ

①

そんな伊佐奇兵隊本陣に  
慶応元年一月六日  
萩からの使者が来て  
諸隊の解散と  
武器を返上せよとの  
命である  
返答は?

高杉さんど  
意見が分かれ  
別行動をとった  
山縣さんは

河原宿陣跡

四郎ヶ原宿陣跡

赤間関街道中道筋

伊佐奇兵隊本陣跡

赤間関街道中道筋を  
北上し伊佐に本陣を構え  
河原と四郎ヶ原に諸隊を  
配置し萩の様子を  
窺つちよつたんよ

③

②

これに対して  
承知した  
使者御苦労であった  
酒宴を用意したので  
ごゆるりと...

そう言つて  
本陣から半里離れた  
下村の庄屋の家に  
連れていつたそ

④

でもこれは  
用心深い山縣さんの作戦  
萩本藩との話し合いは  
すでに無理と思ひ  
闘うことを決意し  
勝つためには  
奇襲しかないと  
使者に酒を振舞ひ  
油断をさせ  
その間に戦支度を  
はじめたんよ

そして河原宿から  
天宮慎太郎率いる  
百人の兵が  
寒風吹きすさぶ  
秋吉の台地を  
絵堂の萩軍の陣に  
向かい進んで  
いつたんよ

⑤

そして  
目付の変わった  
七日深夜  
絵堂の宿に  
銃声が響き渡り

ついに  
大田 絵堂の戦いの  
火蓋が切つて  
落とされたそ!

萩政府軍本陣

萩政府

栗原

毛利

⑥